

さくら苑の縁

2023 Vol.38
春号

発行 / 社会福祉法人 神戸中央福祉会 山手さくら苑
令和5年4月10日発行 第38号

発行責任者 施設長 / 野尻 信一郎

職員紹介リレー

居宅介護支援事業所 介護支援専門員 松場 緑 (まつば みどり)

さくら苑居宅にご縁があり勤めて4カ月目となります。介護支援専門員の松場緑と申します。介護の仕事に携わるようになったのが、13年前になります。始めは、いつか母の介護をする機会がある為ヘルパーの講習に行ってみようと思ったのがきっかけです。事務員の仕事をしながら訪問ヘルパーステーションの登録ヘルパーになり夕方から2時間だけの要介護4の方の身体と生活援助の仕事で週4で担当する事になりました。最初の数日位は、上手におむつが換えられなく布団を汚したりどうしようかと家族さんの居る前で、焦って失敗したりこの人大丈夫と思われていたと思います。その後、訪問介護のサ責を2年経験し腰痛で続ける事が出来なくなり小規模多機能のケアマネとして6年勤めました。年齢的にも転職は、厳しいかなと思ってそのまま続けるか悩みましたが、居宅で経験を積んでステップアップしてみたいと思って小規模多機能を退職しました。去年、4月頃から母の認知症が酷くなり家に帰るとトイレの失敗・水を止めるのを忘れてリビングが水浸しになってたり今日は、何か起こっているかと家の扉を開けるのがドキドキしました。集合住宅に住んでいる為、下の階の家を濡らしたらどうしよう？夜も2時間間隔でトイレ誘導をしないとイケない為、眠れない日が続きました。ストレスがどんどんたまっていきました。そんな日が1ヶ月位続くとついに母に手を挙げてしまいました。何とも言えないやりきれない気持ちになりました。

認知症なんだからいくら説明してもできないのは、わかっているのに。このままでは、母も私もダメになってしまう。母の為にも施設で介護を受けた方が良いのではと思いました。早急にロングショートで母のケアマネジャーに相談し探してもらいました。幸い直ぐにロングショートが見つかりました。今も継続中です。1月に1回定期受診に同行し昼食を一緒にしたりするだけです。申し訳ないなと言う気持ちもありますが、仕事しながらの介護は、私には出来ません。

去年、母をショートに預けて気持ちが楽になって夜も眠れる様になったにも関わらず7月頃より徐々に食欲なくなり、全く食べれなくなりました。体重



が5キロ位痩せてしまい倦怠感が酷く横になっていないとられない様な状態になりました。かかりつけの病院で診察してもらい検査してもらおうと、心療内科を勧められました。ストレスからの軽いうつ症状であると診断されました。毎日、一日中寝たきり状態の様子が2ヶ月位続きいつになったら良くなるのか？もうこのまま寝こんだままなのか？仕事もできないのか？等藁にも縋りたい様な不安な気持ちでいっぱいでした。元気である事を当たり前のように思っていました。病気になる元気で暮らせることのありがたさを痛切に感じました。9月頃になって少しずつ食べられる様になり倦怠感も徐々になくなり元気になりました。御社の入職の日を待って頂け今ありがたく働かせて頂いております。居宅のケアマネの仕事は、経験がない為、即戦力には、なっていない現状です。皆さんに教えて頂きながら日々勉強させていただいております。色々な病気を抱えている利用者さんのごだわりにきちんと寄り添い望む生活ができる様に支援することがケアマネの仕事です。利用者が抱えている課題を聞き取る為、何か困ったことや問題が起きた時に、フットワーク良く対応することが利用者との信頼を高めることにつながると思います。フットワークの軽さを活かし現場に出て行きじっくり話を聞く姿勢を大切にケアマネの仕事をしております。

趣味は、ここ数年の癒しは、Kpopの好きなアーティストのライブです。3時間位の間ですが、嫌な事全て忘れて会場と一体となって臨場感をもてる事が何よりのストレス発散となっています。ライブが終わった数日は、余韻が残っています。元気も戻ったから明日からまた、仕事頑張ろうといつも思います。後、旅行に行くと観光や旅先でローカルフードを味わう事。神戸から大阪周辺での美味しいランチに行く事が好きです。美味しいお店があると聞けば友達と出かけます。

良い環境の中で元気に働くことに日々感謝して仕事しております。こんな私ですが、よろしくお願ひ致します。



創立21周年

山手さくら苑



平素は、山手さくら苑の運営にご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。今年も年度初めの4月を迎え、穏やかな季節となりました。このままコロナも終息してくればいいのですが、withコロナ生活はまだまだ続くようです。これからの社会はいろいろな制限から解放されて普通の生活に戻っていくようですが、山手さくら苑のように重症化しやすい多くの利用者が集う場所では、まだまだ厳重かつ慎重な対応が求められます。

さて、私事ですが、今年になって誕生日を迎え、立派な高齢者とあいなりました。しかし、高齢者と言っても65歳はまだまだ若いと皆さんも感じているのではないのでしょうか？また、現在高齢者の内、65~74歳を前期高齢者、75歳以上を後期高齢者と呼んでいますが、これも何となく実態とずれているように思うのは私だけでしょうか？私なら、65~74歳を前期高齢者、90歳以上を後期高齢者とし、75~89歳を中期高齢者としてはどうかと思っています。

とにかく、今年2023年となり、俗に言われる「2025年問題」まで、あと2年を切りました。2025年、昭和22~24年の第1次ベビーブームに生まれた方々が全員75歳となり、いよいよ高齢者介護の本番を迎えることとなります。山手さくら苑においても2025年に向けて、介護のロボット化、ICT化を進めており、セーフティケアといった利用者にとっても職員にとっても安全で安楽な介護技術の向上にも取り組んでいます。

新たな年度を迎えるにあたり、地域の皆様の更なる信頼をいただき、この地域においてなくてはならない施設になることを目指し、職員一同精進してまいります。今年度も皆様方のご協力、お力添えをよろしくお願い申し上げます。

施設長 野尻 信一郎

編集委員

施設課長 新谷和之
介護副主任 村上宣雄
ショートステイ生活相談員 井上和恵
デイサービス生活相談員 藤森大輔
施設課管理栄養士 三好絢子
あんしんすこやかセンター社会福祉士 田村優佳
事務職員 土橋志保

編集後記

新型コロナウイルス感染症の発生から約3年が経過しました。令和5年5月8日より感染症法上の位置づけが「5類感染症」へと変更となります。これによってマスクの取り扱いや医療体制の段階的な移行などこれまでの「ウィズコロナ」から大きな変化が見られることが予想されます。しかし、今後も一定の流行が繰り返されることが想定されることから高齢者など重症化リスクの高い人たちが集まる高齢者施設においては、施設内において感染が拡がらないよう対策を続けていくことが求められます。今後、様々な工夫を行いながら、効果的かつ持続可能な感染対策の実践に努めてまいりたいと思います。

ご案内

HP <https://kobechuofukusikai.net/yamatesakuraen/>
FB <https://www.facebook.com/yamatesakuraen>

施設課 特別養護老人ホーム・ショートステイ

令和5年度 事業計画

特別養護
老人ホーム

時代や地域のニーズに合ったケアを施設の特徴として確立させ、介護品質の標準化、ブランド化を図る。ガイドラインを活用し生産性の向上、働きやすい職場環境を実現する。

ショート
ステイ

全職員が在宅サービス、自立支援への理解を深める。事業所の特徴を確立させ組織的に取り組みを実践する。また幅広い広報活動を展開することにより他事業者との差別化を図る。

セーフティケア



【外部講師施設視察】

2月に安全なケア研究所の上田喜敏所長をお招きし、施設内の腰痛発症リスクの視察や介護技術などについてご教授頂きました。

【神戸市介護テクノロジー導入促進プロジェクト】

神戸市と日本ノーリフト協会が共催しているプロジェクトにおいて、施設の介護機器導入体験についての発表を行ってきました。



認知症ケア

【認知症ケア研修】

12月に施設課全職員を対象とし「視点を変える」に焦点を当て研修を行いました。介助者視点ではなく「ご利用者が本当に困っていることは何か？」というご利用者視点への変換の重要性を伝達しました。

介護現場で見られる課題…
言葉として、知識として、頭ではわかっているけれど、ご利用者へのアセスメントや実際のケアでは、抜け落ちてしまっていることが多い点
「介助者が困っていることではなく、ご利用者が困っていることは何か？」という視点
「できないことばかりではなく、できることには何かあるか？」という視点

「介助者が困っていることではなく、ご利用者が困っていることは何か？」という視点
介助者が困っていることにケアをすることは対応療法に過ぎず、根本的な原因の解決やご利用者の生活の質を向上させることには繋がらない。認知症ケアの本質は「ご利用者の困り事」を把握し仮説を立ててケアをすること。

Instagram 「いいね！」数が多い施設課投稿ランキング(2022年11月~2023年2月)

1位

2023年
新年のご挨拶
127 いいね!



2位

福祉体験学習
啓発動画作成風景
91 いいね!



3位

お誕生日会
83 いいね!



おやつ作り・お茶会



実演調理「天丼」「おでん」



クリスマス



イルミネーションドライブ



お正月



節分



Instagramの

ご案内



YAMATESAKURAEN3

ご利用者様の苑での日常や行事、施設の取り組み、職員の生き生きと働く様子を発信しています。是非ご覧下さい。

検索ID▶▶▶YAMATESAKURAEN3

山手さくら苑デイサービスセンター

デイサービスの日常風景と行事について

外出行事はできませんが、苑内で色んな取り組みをしております。

9月

午後からの歩行訓練

残暑が厳しいですが、少し涼しくなってきた為苑内を散歩しベンチで日向ぼっこ中です。



暖かく気持ちいいね。



11月

久々の外部ボランティア来苑

コロナ禍になり、外出やボランティアさんの受け入れが不可能となっていました。約3年振りにボランティアさんに来苑頂き、音楽療法を行いました。利用者様もとても喜ばれていました。



身体動かすと楽しいね！

12月

クリスマスイベント

12月はクリスマスのイベントを毎年開催しており、今年はいじ引きで景品が当たりました。また、サンタとトナカイも駆けつけてくれました。



メリークリスマス！！



正月行事

1月

新年は4日からデイサービスが始まり、本来ならば初詣の外出がありますが出来ない為、福笑いや食事で正月気分を味わって頂きました。今年は兎年の為、兎に扮したダルマに利用者様が思い思いに似顔絵を描いてくれました。



2月

節分イベント

今年もさくら苑に鬼が来ました。豆は投げれないので、紅白玉を投げて節分を楽しんでいました。その後は鬼と記念撮影を撮っていました。



令和5年度 事業計画

ご利用者が在宅生活を継続して過ごせるための自立支援を意識し、ご利用者お一人お一人に寄り添い、よりよいサービス内容の強化を図る。新型コロナウイルス感染対策の緩和に伴い、必要な感染対策は続けながら安心・安全なサービスを提供していく。

居宅介護支援事業所



令和5年度 事業計画(案)

居宅介護支援事業所 山手さくら苑

【年度目標】

事業方針に基づき、ご利用者や地域の方々が住み慣れた地域で自らの意思に基づいた質の高い生活を送って頂ける様支援に努める。

その為にも、事例検討会や各種外部研修にも積極的に参加し、介護支援専門員としての知識を高めると共に、各種他職種との連携や地域の方々との関係性を構築していく。



元町山手あんしんすこやかセンター

令和5年度 事業計画

センター職員と地域の中にある様々な社会資源が関わり合い、それぞれの立場をお互いが理解したうえで、高齢者、障がい者に限らず地域が抱える問題を、解決していく仕組みが暮らしの中に出来上がる。



あんしんすこやかセンター

コロナ禍の影響もあり、閉鎖されていた地域の集い場も少しずつ開催されてきました。

今回は令和4年から再開された、諏訪山公園近くで行なっている「みーちゃんカフェ」に参加してきました。地域の介護や健康の情報を気軽に話せる場所として開かれています。

あんしんすこやかセンターでは、各地域での介護予防啓発や介護相談、介護家族に向けて介護リフレッシュ教室を開催するなど、高齢者が住みやすい地域づくりをおこなっています。



事務所

防災・消防訓練を行いました



1月17日(火)に、地震と火事を想定した防災・消防訓練を行いました。今回初めて地震と火事の両方を想定した訓練を行いました。これが訓練ではなく、本当の災害だったらと思うと、日ごろから訓練を行い意識していくことが大切だと感じました。



非常食調理訓練を行いました

1月18日(水)には、非常食調理の訓練を行いました。非常食の保管場所や、非常時の調理方法について、職員一人一人が把握しておくことがスムーズに進めていく為に重要であると感じました。その為にも、今後も訓練を続けていきたいと思えます。



住宅型有料老人ホームハーモニー0JI

令和5年度 事業計画

満室を目指し、稼働率の向上・維持を図る。

全ての入居者が活動的な生活を送れるよう支援するとともに、1人ひとりの入居者に応じた一層のこまやかなケアを提供していく。



令和4年のクリスマス会の一幕です。いつもとは少し趣きを変えて、元町直送のシューケーキの堪能されました。

入居者様の電子オルガンの演奏もあり、大変盛り上がりしました。



特製の生け花の前で令和5年のスタートです。

とても寒い日が続きましたが、皆様風邪ひとつなく元気に過ごされています。ご家族や多くの御協力を頂きながら、新型コロナウイルスの大きな波も無事に乗り越えることができました。

引き続き感染症対策を徹底し、ハーモニー0JIでの生活を楽しくで頂けるよう努めてまいります。